

2021 年度事業報告

一般社団法人経済同友会インターンシップ推進協会

1. 概要

2021 年度は、昨年度から続く新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業活動に大きな制約を受けることとなったが、中核事業であるインターンシップの実施については、2020 年に取りまとめた「オンライン実習に関する教育価値向上のポイントについて(報告)」も踏まえながら、受入企業及び派遣大学の努力により、オンライン型やハイブリッド型のプログラムを中心に着実に実施され、ウィズコロナ期での実社会における学習機会の確保を実現した。

さらに本年度は新規事業として、当協会の主催によりすべてのインターンシップ生を対象とした合同事後研修を実施し、企業実習の振り返りとキャリアビジョンの形成を積極的にサポートすることで、学生たちの成長を支援した。また、実習成果報告会についてはオンライン形式にて例年どおり開催し、有志の会員企業・大学からそれぞれ得られた実習の成果について報告があり、会員相互に共有を図った。

2. 経済同友会インターンシップ事業

(1) 2021 年度経済同友会インターンシップの実施に向けた調整・支援

2021 年度経済同友会インターンシップに係るマッチングは、2020 年度中に実施した意向調査の回答結果に基づいた調整を行い、その結果を 2021 年 4 月に会員へ通知した。

本年度は、昨年度に引き続きコロナ禍での実習を余儀なくされたものの、各会員がこれまでに得た知見を基に、独自の対処方針を策定していることを踏まえて、実習実施・実習生派遣の可否や実施方法等の調整は、各会員が個別に判断するよう要請した。

その結果、実施方法をオンライン型やハイブリッド型に変更するなど、各会員の柔軟な対応と努力により、会員企業 24 社のうち 21 社が実習を実施し、111 名の学生が実社会での学びを体験することができた。(表 1)

実施方法別では、オンライン型 13 社、対面型 5 社、ハイブリッド型 3 社となり、ウィズコロナ期における多様な形態でのインターンシップを展開した。

実習期間中はオンラインを中心に当協会の役職員が 12 社の実習視察を行ったほか、7 校の実習成果報告会に出席した。

■表1 2021年度経済同友会インターンシップ実施実績（2022.3.31現在）

企業名	国立大学								公立大学			私立大学						高等専門学校 学校機構	合計	
	北海道	小樽 商科	東北	埼玉	お茶の水 女子	新潟	九州	琉球	岩手 県立	山形 市立 山形 県立	高知 工科	工学院	上智	昭和 女子	聖心 女子	東洋	龍谷			
アスクル	2		1	1				1	1	1				1	1	1				10
イオン	1		1						1					1	1	1				6
キッコーマン	1													1		1				3
キッツ	1																			1
久慈設計																		1		1
ケマーズ		1				1	1					1	1				1			6
コニカミノルタ					1							1	1							3
小松製作所	1		1									1				1				4
住友林業	2						1				1		1				1			6
損害保険ジャパン		1			1	1	1								1		1			6
第一生命保険	2		1	1				2	1					1	1	1				10
デュボン						1														1
凸版印刷		1		1				1	1	1							1			6
日本信号					1					1	1					1				4
野村證券		2			2	1	1						2				2			10
東日本旅客鉄道	1				1	2	1				1									6
みずほ証券	1		2	1				1	1					1	1	2				10
三井住友銀行				2										1	1	2				6
三井不動産			1					1	1					1						4
三菱ケミカル			1			1	1			1	1						1			6
ユー・エム・アイ										1		1								2
合計	12	5	8	6	6	7	6	6	6	5	4	4	5	7	6	10	7	1		111

(2) 当協会主催による合同事後研修の開講

2021年度より、さらなる教育成果の向上を図るため、当年度の実習に参加したすべてのインターンシップ生を対象に、新規事業として経済同友会インターンシップ合同事後研修を開始した。

当研修は、インターンシップでの貴重な経験を改めて整理し、各自の体験を共有することで個々の学びをより深め、実習と研修を通じて得た「気づき」をキャリア形成に向けた具体的な行動変容につなげていく機会として開講した。また、所属大学や実習先企業の垣根を越えた交流の機会として、経済同友会インターンシップ生のネットワーク形成を図った。

本年度は、全2回のプログラム構成とし、経験豊富な人材コンサルタントを講師に迎え、完全オンラインにて開講した。一部のプログラムにおいては、会員企業の人事担当者にサポーターとして参画してもらうなど、活発な研修を展開した。

また、経済同友会との連携の一環として、経済同友会の会員を特別講師に招き、現役の企業経営者によるキャリア講演会を特別編として開催した。

開催時期	2021年10月～12月
実施方法	オンライン
受講対象	2021年度経済同友会インターンシップ生 111名
プログラム	<p>第1回「インターンシップの振り返り」</p> <p>開講日：10月11日(月)/13日(水)/15日(金) 18：15～20：30</p> <p>※インターンシップ生はいずれかの日程に参加。</p> <p>参加者：インターンシップ生 67名</p> <p>内 容：冒頭挨拶 代表理事 横尾 敬介</p> <p>①実習先企業の振り返り</p> <p>②自身の強み・弱みの棚卸と組織力との関連付け</p> <p>第2回「今後のキャリアデザインを描くために」</p> <p>開講日：12月13日(月)/15日(水)/17日(金) 18：15～20：30</p> <p>※インターンシップ生はいずれかの日程に参加。</p> <p>参加者：インターンシップ生 51名、会員企業担当者のべ 12社 16名</p> <p>内 容：①第1回研修の振り返り/基本レクチャー</p> <p>②学生生活の取組目標設定ワーク</p> <p>③会員企業サポーターとの交流タイム</p> <p><参加企業></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>アスクル、イオン、キッコーマン、キッツ、住友林業 損害保険ジャパン、第一生命保険、デュポン、野村證券 みずほ証券、東日本旅客鉄道、ユー・エム・アイ</p> </div> <p>特別編「企業経営者によるキャリア講演会」</p> <p>講演者：経済同友会「学校と経営者の交流活動推進委員会」委員長 林 礼子氏 (BofA 証券株式会社 取締役副社長)</p> <p>開講日：11月10日(水) 18：15～19：15</p> <p>参加者：インターンシップ生 40名、OB/OG 6名、教職員 15名</p> <p>テーマ：「自分らしいキャリアをどうデザインするか」</p>

(3) 実習成果報告会の開催

2021 年度経済同友会インターンシップの成果と課題を会員及び当協会相互に共有し、次年度以降の更なる改善につなげることを目的として、2021 年 12 月 6 日に 2021 年度経済同友会インターンシップに係る実習成果報告会をオンラインにて開催した。また、報告会の様子をオンデマンド形式にて配信した。

日 時	2021 年 12 月 6 日(月) 15:00~16:30
場 所	オンライン
参加者	来賓 8 名、正会員 (企業)関係者 23 名、正会員 (大学等)関係者 33 名、準会員・賛助会員関係者 6 名、当協会役員 6 名、報道関係者 3 名、合計 79 名
プログラム	1. 開会挨拶 代表理事 横尾 敬介 2. 2021 年度経済同友会インターンシップ概要説明 事務局 3. 企業事例報告 ・アスクル株式会社 大木 祐哉 氏 (アスクル 人事総務本部 人事戦略 採用) ・イオン株式会社 三村 瞳 氏 (イオン 人材育成部採用グループリーダー) ・ケマーズ株式会社 越邑 由香子 氏 (ケマーズ HRBP) 4. 大学等事例報告 ・国立大学法人 琉球大学 本村 真 氏 (琉球大学 キャリア教育センター長) 5. 講評 井上 示恩 氏 (日本学生支援機構 学生生活部長) 6. 閉会挨拶 専務理事・事務局長 藤巻 正志

注) 報告者の所属・役職は、開催日現在のものである。

(4) 2022 年度経済同友会インターンシップに係るマッチングの実施

2022 年度のインターンシップを実施するに先立ち、正会員に対して意向調査を実施し、寄せられた回答結果を踏まえ、企業と大学とのマッチング及びそれに関連する調整を行い、そのマッチング結果を 2022 年 3 月に正会員へ通知した。

(5) マッチング審査会の開催

2021 年度よりインターンシップ実施における派遣元大学と学生受入企業とのマッチングについては、透明性を一層高め会員の信頼と期待に応えるため「マッチング

審査会」を設置し、マッチング結果を審査することとしている。

2021年度のマッチング結果は2021年4月9日に開催した審査会、2022年度のマッチング結果は2022年3月17日に開催した審査会にてそれぞれ審査を行い、これを承認した。

3. 経済同友会インターンシップOB・OGを対象とする交流会の運営事業

2021年11月10日に開催した2021年度合同事後研修 特別編「企業経営者によるキャリア講演会」では、2020年度のインターンシップOB・OGを招待し、交流を図った。

4. インターンシップの推進、調整、実態把握及び連携協力に関する事業

正会員企業の担当者相互及び当協会との情報共有・意見交換を目的として、実務者懇談会をオンラインにて開催した。

第1回	日 時	2021年5月24日(月)/25日(火) 14:00~15:00
	対 象 者	会員大学等の実務担当者
	出 席 者	18大学等から計39名
	内 容	2021年度経済同友会インターンシップ実施に向けて
第2回	日 時	2021年9月1日(水)/2日(木) 16:00~17:00
	対 象 者	会員大学等の実務担当者
	出 席 者	17大学から計29名
	内 容	2021年度経済同友会インターンシップ合同事後研修の開催について
第3回	日 時	2022年1月12日(水)/13(木) 13:00~14:00
	対 象 者	会員企業・大学等の実務担当者
	出 席 者	21社・18大学から計50名
	内 容	2022年度経済同友会インターンシップ実施に向けて

5. 新規入会の促進及び法人の管理運営に関する事業

(1) 新規入会の促進

2021年度当初の会員数は、正会員42法人(企業24、大学等18)、準会員4法人(企業3、大学等1)、賛助会員1法人であった。

年度途中に正会員の新規入会3法人(企業2、大学等1)及び退会3法人(企業3)が発生した結果、年度末時点の会員数は、正会員42法人(企業23、大学等19)、準会員4法人(企業3、大学等1)、賛助会員1法人となった。

(2) 理事会の開催

回	開催日	出席者数	決議事項	可否
1	2021年4月20日	理事7名 監事2名	・2021年度インターンシップに係る マッチングについて	可決
2	2021年5月19日	理事6名 監事2名	・2020年度事業報告について ・2020年度決算について ・次期理事の選任について ・2021年度定時会員総会招集について	可決 可決 可決 可決
3	2021年6月23日	書面審議	・代表理事の選定について ・専務理事の選定について	可決 可決
4	2022年1月26日	書面審議	・新規入会の諾否について	可決
5	2022年2月21日	書面審議	・新規入会の諾否について	可決
6	2022年3月17日	理事5名 監事2名	・2022年度事業計画について ・2022年度収支予算（2021年度決算見込 み含む）について ・2022年度経済同友会インターンシップ のマッチング結果について	可決 可決 可決

(3) 会員総会の開催

回	開催日	区分	出席者数	決議事項	可否
1	2021年6月16日	定時	43名	・2020年度決算承認の件 ・次期理事の選任の件	可決 可決

以上